令和8年度第1回阿倍野区区政会議全体会でのご意見と対応一覧

［分類］
①当年度（8年度）において対応
②9年度に対応予定
③9年度では対応できないが、今後引き続き検討
④その他

番号	年月	会議	意見内容（要約） （公表）	対応（回答） （公表）	分類
1	R8.6	第1回区政会議全体会	【自転車の運転ルールについて】 阿倍野区管内では交通事故は減少している一方、自転車事故の割合が大阪府平均33%に対して49%。雨天時の自転車運転マナーで、傘差し運転は即違反なのか、「さすべえ」について、傘の高さ・横幅など具体的な寸法制限（高さや横幅が何メートルまで等）はどれぐらいか、分かる範囲で教えてほしい。 （石丸委員）	片手で傘を差して自転車を運転する行為は道路交通法に抵触し、まずは指導・警告を行うが、従わず違反を続けたり是正しない場合は4月からの青切符の対象となり、傘差し運転の反則金は5,000円です。「さすべえ」は自転車の積載装置扱いとなり、高さ2m以内・積載装置から左右各15cm以内にはみ出さないことが条件のため、一般的な傘を差して運転すると違反となります。雨天時は危険性もあるため、レインコートの着用を推奨しています。また、市民協働担当では交通安全の出前講座を実施しており、10名以上の集まりがあれば申込みにより自転車ルール等の説明にお伺いします。	①
2	R8.6	第1回区政会議全体会	【区民アンケート結果の分析と反映について】 アンケート調査というのは、本当にリアルな意識調査だと思う。 評価が低い項目については、原因の追究をしていく必要があると思う。 6年度、7年度、と調査をされている項目については調査結果の分析の反映がどのようにされているか知りたい。 （家田委員）	アンケート結果などの数字が目標値に至っていないものがあります。 例えば経営課題1の部分では、分析のうえで、情報発信等であれば広報の強化やSNSを活用するといった方法をとっています。 8年度についても、委員のみなさまのご意見もお伺いしながら、新たな手法についても引き続き検討してまいります。	①
3	R8.6	第1回区政会議全体会	【アンケートの調査対象について】 戦略3-1　地域で支援を必要とする人に必要な支援が行き届く地域社会になっているかの項目について、不特定多数の人に調査をしたところで、全く関心がない、意味が分からないという人も多いと思う。それよりも当事者に対して行き届いてるかということを実態調査をすることが有効ではないか。誰に対して調査をされたのか、また、当事者に対して調査をする予定はあるか。 （家田委員） 他の項目についても当事者や会議に参加された方限定に調査されたのか、区民アンケートによる無作為の調査結果なのか （永岡委員）	令和7年度運営方針及び事業報告書での指標について、戦略3-1については、区民アンケート調査の結果を使用し、無作為抽出で2,600名の方を対象に実施しました。当事者に対する調査ではありません。 一方、具体的取組3-1-1のように、要援護者本人やその家族等を対象に限定した調査の結果を使用している項目もあります。 令和8年度は、それぞれの取組への参加者や当事者に対する調査に変更しています。	①
4	R8.6	第1回区政会議全体会	【区民アンケートの調査対象・目標設定について】 項目によって、8割を到達目標として考えるべきものと、初めから高くならないものがあると思うので、目標を定めるときにどのように検討したか教えてほしい。 区民アンケート以外の目標と結果について、問題によって、当事者からの意見を重視する場合と、無作為で統一的に行う場合との違いがあると思うので、検討しながらいろんな方法で課題を把握しているということか。 （永岡委員）	それぞれの経営課題、めざすべき成果、戦略について成果目標を設定しています。区民アンケートを用いるもの、もしくは当事者等へのアンケートを用いるものなど、目標設定については各事業ごとに決めております。 なお、大阪市の方針として、令和8年度からは目標設定にあたり区民アンケートを用いるべきではないとの通知が出ており、令和8年度以降は当事者や参加者アンケートなどの結果を取り入れております。 区民アンケート以外にも、参加者アンケートなどを行っており、事業を行う上での参考にしております。	④
5	R8.6	第1回区政会議全体会	【防災関連備蓄計画について】 地域として若年層のまちなか防災訓練への参加が少ないという課題がある。また、自主防災組織としては、マンション等高層の住宅では在宅避難を進めており、主に戸建ての場合は避難所への避難も想定している。しかしながら、大規模災害時は避難所だけでは対応しきれず、特にトイレ関係物資（簡易トイレ・凝固剤等）は不足する可能性がある。 一方、簡易トイレ・凝固剤等は高価で、地域負担のみで十分な数量を確保するには限界がある。そこで行政が各避難所に何をどれだけ備蓄しているかを教えていただき、不足分を地域で補う判断材料にしたい。 なお、常盤地域では阿倍野区社会福祉協議会の補助金等を活用してトイレ関係物資を購入しており、避難所で不足が生じた場合には地域から持ち込む運用も想定している。 （髙岡委員）	若年層のまちなか防災訓練への参加が少ないという課題は認識しており、全10地域で実施してるまちなか防災訓練では、各地域が工夫を凝らして取り組んでおられます。行政としても、広報紙、HP、SNSを活用した情報発信による周知や、地域と連携しながら、より効果的な訓練・啓発の方法を検討し、推進してまいります。 また、大阪市の備蓄計画に基づき、トイレ関連物資として、例えば排便処理セット（1人1日5回分×3日分）を各避難所などに備蓄しています。また、区の事業として、各避難所へ災害時用ラップ式トイレの配備を進めています。 一方で、想定を上回る避難者が避難所に集中した場合には、トイレ関係物資が不足する懸念もあります。そのため、地域の備えは大変ありがたく、あわせて在宅避難の推進や家庭での備蓄が進むよう啓発を行っています。	①

令和8年度第1回阿倍野区区政会議全体会でのご意見と対応一覧

［分類］
①当年度（8年度）において対応
②9年度に対応予定
③9年度では対応できないが、今後引き続き検討
④その他

番号	年月	会議	意見内容（要約） （公表）	対応（回答） （公表）	分類
6	R8.6	第1回区政会議全体会	【地域防災リーダーについて】 地域防災リーダーに高齢者も多く災害時に対応できるか懸念がある。また、災害発生時の地域防災リーダーの役割範囲（どこまで対応・関与するか）を教えてほしい。あわせて町会長が防災リーダーを兼務することについて行政としてどうお考えか教えてほしい。 また、ジュニア防災リーダーの実数（中学生・高校生の人数）や令和7年度活動実績が区政会議資料上では不明なため教えてほしい。 （髙岡委員）	地域防災リーダーはあくまでボランティアであり、災害時はまずご自身とご家族の安全を最優先し、その上で初期消火や避難誘導など可能な範囲で地域を助けてほしいと考えています。また初期消火等に必要な訓練は阿倍野消防署と連携して実施しています。 町会長と地域防災リーダーはそれぞれ役割がある一方、町会長が地域防災リーダーを兼ねて訓練を経験することも有意義だと考えており、重複して役割を果たされている方もいらっしゃるので、区として兼務を止めるものではないと理解しております。 防災ジュニアリーダーは平成28年に発足し、現在は中学生6名・高校生18名の計24名が活動しています。防災に関する訓練や体験、区主催のイベント（AAA）などでの活動や、地域のまちなか防災訓練など様々な場面で活躍しています。	④
7	R8.6	第1回区政会議全体会	【阿倍野区の戦略・もっとも成果を出したい事業について】 　住み続けたいと思う若い世代を増やすためのほかの区との差別化の戦略があるならば教えてほしい。 予算と人員が限られた中、本年度最も成果を出したい事業を、言い換えれば、区長が考える本年度これだけは達成したいという事業があるなら教えてほしい。 （鷲岡委員）	区長として一番力を入れたいのは防災とつながりの強化です。 能登半島地震のときにボランティアに行った区役所の職員が一番困ったのはトイレの問題と聞いており、昨年度来、限られた予算の中でラップ式トイレを区に配置しています。 つながりに関しては、強烈につながる強い太い糸が切れると一瞬で終わってしまうことをすごく懸念しており、細いつながりをたくさん増やしていきたいと考えております。 　阿倍野区は、ハルカスのような観光地から神社仏閣、おいしいお店などすごくアドバンテージを持っています。「あべの愛」でこの地域が支えられていると感じており、私自身もいろんな企業と連携し、お店の紹介をするなど、アドバンテージを生かすように取り組んでまいります。 人がつながり、安全・安心とにぎわいとを未来につなぐまち、こども・若者たちがのびやかに成長できるまち、誰もが自分らしく幸せに暮らし続けるまち、この3つの柱を基に事業を展開しており、着実に成果を出すことで住み続けたいまちであり続けたいと考えております。	④
8	R8.6	第1回区政会議全体会	【地域の防犯に関する情報共有について】 犯罪を防ぐまちづくりの関係で、今、阿倍野区ではトクリュウに関しての犯罪があるのか。区役所ではどんな感じで捉えているのか。警察のパトカーが赤色灯をたいて、ずっと待機している状況が大分続いている。阿倍野警察から「トクリュウに関する犯罪が阿倍野区で多いから、不審者を見たらすぐに通報してください」というビラも配られているが、長池地区だけに限られているのか、ほかの地区でもあるのか。非常に不安に思っているので、区役所で統括して分かるのであれば教えていただきたい。 （松本委員）	警察から防犯の関係の情報を一定の範囲でいただくこともあります。警察は捜査機関ですので、危険な場所とかは言えませんが、トクリュウは匿名性・流動性のある、SNSなどを通じてその都度その瞬間だけ集まる形の犯罪であり、本当に全国的に増えております。特殊詐欺のことも、警察との意見交換の範囲でいろいろと聞いておりますが、阿倍野区の件数や発生状況というのは、警察としては明らかにできないので、区役所としては、限られた情報の範囲で啓発や未然防止を行うことはあります。	④